

体育・スポーツ・健康づくりの交流で地域を活性化する

NITTAIDAI

学校法人日本体育大学 法人事務局 総合企画部

TEL: 03-3704-5203 FAX: 03-3704-3342

NITTAIDAI

×

自治体

フォーラム2019
REPORT



全国**70**の
自治体が
つながる
ネットワーク

2019年**11月15日**(金)

開催時間 ▶ 16:00～20:00
会場: 帝国ホテル 東京 本館中2階 光の間

学校法人日本体育大学とともに これからの「体育・スポーツ・健康づくり」を 語り合い、学び合う

日本全体の人口減少や少子高齢化、厳しい財政事情とともに、
経済のグローバル化の進展や新興国の台頭など、世界経済の環境変化が著しい昨今、
「地方再生・創生」は国が掲げる重要課題です。
学校法人日本体育大学が地方自治体と手を取り合い、
体育・スポーツを通じた地域活性化に取り組み、はや5年。
その成果は着実に実を結び始めています。



式次第

- 16:00 開会
- 16:05 理事長挨拶
学校法人日本体育大学 理事長 松浪 健四郎
- 16:10 学長挨拶
日本体育大学 学長 具志堅 幸司
- 16:15 セミナー
 - 1 基調講演 熊本県水俣市 市長 高岡 利治 氏
 - 2 事例発表① 新潟県上越市 教育委員会 教育部長 柳澤 祐人 氏
 - 3 事例発表② 和歌山県みなべ町 教育学習課 副課長 平 喜之 氏
- 17:20 協賛企業説明
コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社 東京営業本部 東京ベンディング 第二法人開発部 部長 渡部 彰夫 氏
- 17:35 特別講演
自由民主党 幹事長 二階 俊博 氏
- 18:10 懇親会
【挨拶・乾杯】学校法人日本体育大学 常務理事 今村 裕
【中 締】日本体育大学荏原高等学校 校長 松田 清孝

理事長挨拶

ひとつのことに、真剣になって取り組めば必ずや、いかなる難事も成就する

学校法人日本体育大学 理事長 松浪 健四郎

昨年のがんを患いまして、入院中に本を読み、「雉救林火(キジ、林火を救う)」という仏教の教えを学びました。生まれ育った林が火事になり、キジが水を運んで一生懸命、火を消そうとしています。神さまが「なぜ必死になって水を運ぶのか」と問うと、「私の大切な場所だから、なんとしても消さなければいけない」。しかし、神さまは「一羽のキジが水を運んでも、火を消すことはできない」と告げました。するとキジは「それでも、一生懸命がんばる。命が続く限り水を運び続けます」と答えたのです。そして、それを聞いた神さまは感動し、思い切り雨を降らせたのです。この教えは、ひとりの人間でも命を懸けて取り組めば、必ず理解者や支援者、協力者、応援する者が現れるというものです。ひとつのことを中途半端にやるのではなく、真剣に取り組めば、難しいことも成就するという教えであろうと思っています。子どもたちが大きな夢を持つことができるよう、そしてお年寄りの皆さんが健康寿命を延伸することができますよう、共に必死になって取り組んでまいりましょう。



学長挨拶

自治体と日体体育大学の縦糸、自治体同士の横糸で、素晴らしい生地を織り成す

日本体育大学 学長 具志堅 幸司



本学と自治体との体育・スポーツ振興に関する協定は、平成26年に岡山県美作市との調印が第1号であります。それから5年ちょっとで70の自治体の皆さまと協定が結ばれたことを、非常にうれしく思っています。毎年、夏休みになると、全国各地の子どもたちが本学にやってきます。オリンピックの話聞き、実技を体験し、講義を聞く。その間、廊下ですれ違う子どもたちを見るとみんな生き生きしており、目が輝いております。そのとき「ああ、この協定は素晴らしい。やってよかったな」と実感します。ある地方自治体にお邪魔したとき、皆さまがいろいろな市町村に声を掛け合いながら、運動に取り組んでいることを発見しました。つまり、自治体同士の横のつながりも生まれはじめてきた、ということです。自治体の皆さまと本学による縦糸の関係だけではなく、自治体間で関係を深めていく横糸の役目も大事ではないでしょうか。縦糸と横糸で今まで見たことのないような生地が出来上がっていく。これが今日のフォーラムのひとつの目的ではないかと思っております。



基調講演

人材育成や経済活性化政策において スポーツの役割は非常に大きい

熊本県水俣市 市長 高岡 利治 氏

を通して子どもたちの健全育成を図るために、企業や個人からの寄附金を、必要な事業へ活用するというものです。この制度には地域経済活性化という側面もあります。支援企業への関心や愛着を持った子どもたちが将来、就職する際の選択肢となるのが狙いで、これによって、地元企業への就職が促進され、生産年齢人口を確保するとともに、税収拡大を図ることもできるのです。日本体育大学とは、今年5月に連携協定を締結しました。今後、そのお力を借りて「スポーツキッズサポーター基金」を充実させていきたいと考えています。例えば、子どもたちに一流の技術を学んでもらうために、トップアスリートとの交流の場を用意いたします。また、指導者の育成支援や、大学施設を活用した交流体験も盛り込みたいと考えています。大学関係者の皆さまには本市に対する絶大なる支援をいただいております。このご恩に報いるべく、いっそう水俣市も頑張りたいと思っています。

事例発表 ①

いきいきとしたスポーツ都市を目指して市民の健康促進と選手の育成強化を推進

新潟県上越市 教育委員会 教育部長 柳澤 祐人 氏

上越市では、市民一人ひとりが生涯にわたってスポーツに親しみ、活力のあるまちを築くため、平成22年に「いきいきスポーツ都市宣言」を制定しました。66人のスポーツ推進委員を中心として、各種スポーツ講座やイベントを実施するとともに、総合型地域スポーツクラブの支援など、地域でのスポーツ活動の活性化やコミュニティづくりに取り組んでおります。また、競技力向上とアスリート育成支援の取り組みとして、各育成団体への育成補助を行い、小中学校への指導者の派遣なども行っています。ジュニアトップアスリート育成事業では、体操競技、陸上競技、硬式野球、山岳競技、パレーボール、スキー競技の6団体を指定し、指導者の資質向上と選手の育成強化を図っております。平成27年7月、日本体育大学と協定を締結した後は、競技指導者の派遣などを通じて、スポーツに対する市民の関心を高め、スポーツ選手の育成強化を進めています。陸上競技や女子パレーボール、空手道などの練習会を開いたり、指導者クリニックを実施したり、はたまた東京2020オリンピック・パラリンピックのホストタウン事業であったり、さまざまな面で日本体育大学からご支援、ご協力を

いただき、成果を上げてきています。上越市はこの協定を大切に、子どもたちの夢とお年寄りの健康寿命の延伸のために、スポーツ健康施策を積極的に展開してまいります。



事例発表 ②

“梅パワー” で生まれた絆を活かして 数々の有意義なスポーツ事業を展開

和歌山県みなべ町 教育学習課 副課長 平喜之 氏

ひとつとして自負しています。梅のつながりからスタートした、日本体育大学とのご縁ですが、平成27年10月には正式な協定を締結。日本体育大学への中学生派遣事業や、大学の先生方の講師派遣事業を毎年実施しております。今年度、お越しいただきました白旗和也先生には、幼児期の運動遊びについて、講義や演習を実施していただき、生涯にわたってスポーツを楽しむためには、幼児期からの運動遊びが重要であることを再認識いたしました。みなべ町のスポーツ振興は、学習計画に基づき実施しています。年々減少傾向にあるスポーツ活動ですが、現在、町民が主体となる総合型地域スポーツクラブの設立に向けて準備を進めています。一人でも多くの子どもたちが、日本体育大学へ進学を希望できるような環境を整えていけたらと考えているところです。

協賛企業説明

地域のオリンピック機運を醸成すべく自治体との共同企画に注力

コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社 東京営業本部 東京ベンディング 第二法人開発部 部長 渡部 彰夫 氏

東京2020オリンピック・パラリンピックがいよいよ開催目前に迫っています。コカ・コーラ社とオリンピックのパートナーシップは、1928年のアムステルダム大会に端を発します。以来、オリンピックファンや選手にとって、オリンピック体験が、かけがえのないものとなるよう、さまざまなサポートを行ってきました。自治体の皆さまが、オリンピック関連ブースに出展される折には、オリンピックの歴史紹介パネルをご用意したり、フォトストップとして盛り上がるような演出をご提案したり、そういったご協力をしています。中でも、今回ご紹介したいのは「JOCオリンピック選手強化支援プログラム with Coca Cola」というものです。本プログラムでは、JOCオリンピック支援自販機の売上の一部を競技団体に寄付し、オリンピックムーブメントの推進に活用しています。また、聖火リレーメモリアル自動販売機というものもございまして、これは多くの自治体に導入していただきました。このモデルでは、自動販売機の中央に、聖火リレーが通過する日付と自治体名を記載することができ、聖火リレーが通過する前は地域のオリンピック機運を醸成し、聖火リレー通過後は、町の記念碑のような役割

を果たします。もっと多くの自治体の中で、この聖火リレーメモリアル自動販売機が広がり、オリンピックのシンボルとして活用いただけたら幸いです。





特別講演

災害から尊い生命を守るためにも 日本体育大学の主導する健康づくりに期待

自由民主党 幹事長 二階 俊博 氏

と言われていました。近頃は、私たちの想定を超える規模で、次から次へと忘れないうちに災害が押し寄せる状況です。人間、いざというときに、逃げる事ができる体力を持っていなければ、どうしようもありません。運動を通じて身体を鍛え、行動力・判断力を育成することが、災害から自らの命を守ることに繋がります。こうした観点から、日本体育大学の皆さまが健康づくりに関して、さまざまな配慮をしてくださっていることに感謝しています。自治体の皆さまにも、ぜひこうした活動を長く続けていただくとともに、近隣の自治体へと輪が広がっていくことを願っています。災害によって尊い命を失う悲劇をひとつでも減らしていく、そういう努力を互いに誓い合おうではありませんか。

東京2020オリンピック・パラリンピックでは、多くの外国人観光客が、日本を訪れることでしょう。地方の魅力をアピールすることは、経済効果を生むうえで非常に重要なテーマです。オリンピック後も、また日本に来たいと思ってもらえるように、一致団結して、おもてなしに努めてまいりましょう。かつて「自然災害は忘れたころにやってくる」

2019年度の活動例



懇親会



締結自治体 (全国70の自治体) ※締結順に掲載

- | | | | | |
|-------------|-------------|-------------|------------------------|-------------------|
| 美作市 (岡山県) | 大山崎町 (京都府) | 香美町 (兵庫県) | 市川三郷町 (山梨県) | 下呂市 (岐阜県) |
| 愛知県 | 勝山市 (福井県) | 徳之島町 (鹿児島県) | 北杜市 (山梨県) | 安芸高田市 (広島県) |
| 紀の川市 (和歌山県) | 呉市 (広島県) | 岩国市 (山口県) | 米沢市 (山形県) | 長崎県市町村
行政振興協議会 |
| 泉佐野市 (大阪府) | 柳井市 (山口県) | 岩美町 (鳥取県) | 三重県 (地域連携部) | 西宮市 (兵庫県) |
| 北山村 (和歌山県) | 阿南市 (徳島県) | 品川区 (東京都) | 新潟県 | 水俣市 (熊本県) |
| 小菅村 (山梨県) | 中標津町 (北海道) | 笠間市 (茨城県) | 鳥羽市 (三重県) | 郡上市 (岐阜県) |
| 網走市 (北海道) | 三種町 (秋田県) | 狭山市 (埼玉県) | 当別町 (北海道) | 四万十市 (高知県) |
| 江南市 (愛知県) | みなべ町 (和歌山県) | 中山町 (山形県) | 東根市 (山形県) | |
| 駒ヶ根市 (長野県) | 守山市 (滋賀県) | 別府市 (大分県) | 北部広域市町村圏
事務組合 (沖縄県) | |
| 七尾市 (石川県) | 厚木市 (神奈川県) | 宮古市 (岩手県) | 戸田市 (埼玉県) | |
| 志賀町 (石川県) | 南魚沼市 (新潟県) | 始良市 (鹿児島県) | 須崎市 (高知県) | |
| 島原市 (長崎県) | 海士町 (島根県) | 桶川市 (埼玉県) | 中土佐町 (高知県) | |
| 中間市 (福岡県) | 男鹿市 (秋田県) | 常総市 (茨城県) | 沼津市 (静岡県) | |
| 氷見市 (富山県) | 可児市 (岐阜県) | 大子町 (茨城県) | 東村山市 (東京都) | |
| 神崎町 (千葉県) | 東松島市 (宮城県) | 藤井寺市 (大阪府) | 幕別町 (北海道) | |
| 上越市 (新潟県) | 小田原市 (神奈川県) | 都城市 (宮崎県) | | |

学校法人日本体育大学を軸としたネットワークを構築し、
地域を活性化することで、幅広く社会に貢献していきます

